

一関市病院事業 経営強化プランについて

一関市病院事業/藤沢病院

ガイドラインが求めるプランの内容

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

一関市病院事業の方向性

(1) 果たすべき役割

- ・ 藤沢地域唯一の医科医療機関として、初期救急から入院、在宅を含めた医療の提供
- ・ 自ら運営する介護事業等を含め、地域包括ケアシステム機能が発揮されるための中心的な役割

(2) 人材確保と働き方改革

- ・ 医師はもとより、医療職や介護職等、様々な人材の確保が難しい現状がある
- ・ 働き方改革の時間外上限規制は、A水準

(3) 経営形態の見直し

- ・ 介護事業を含めて地方公営企業法を全部適用しており、今後も一体的な運営を継続
- ・ 地域医療連携推進法人の可能性について調査

(4) 感染症への取組

- ・ 感染症法による医療措置協定による対応

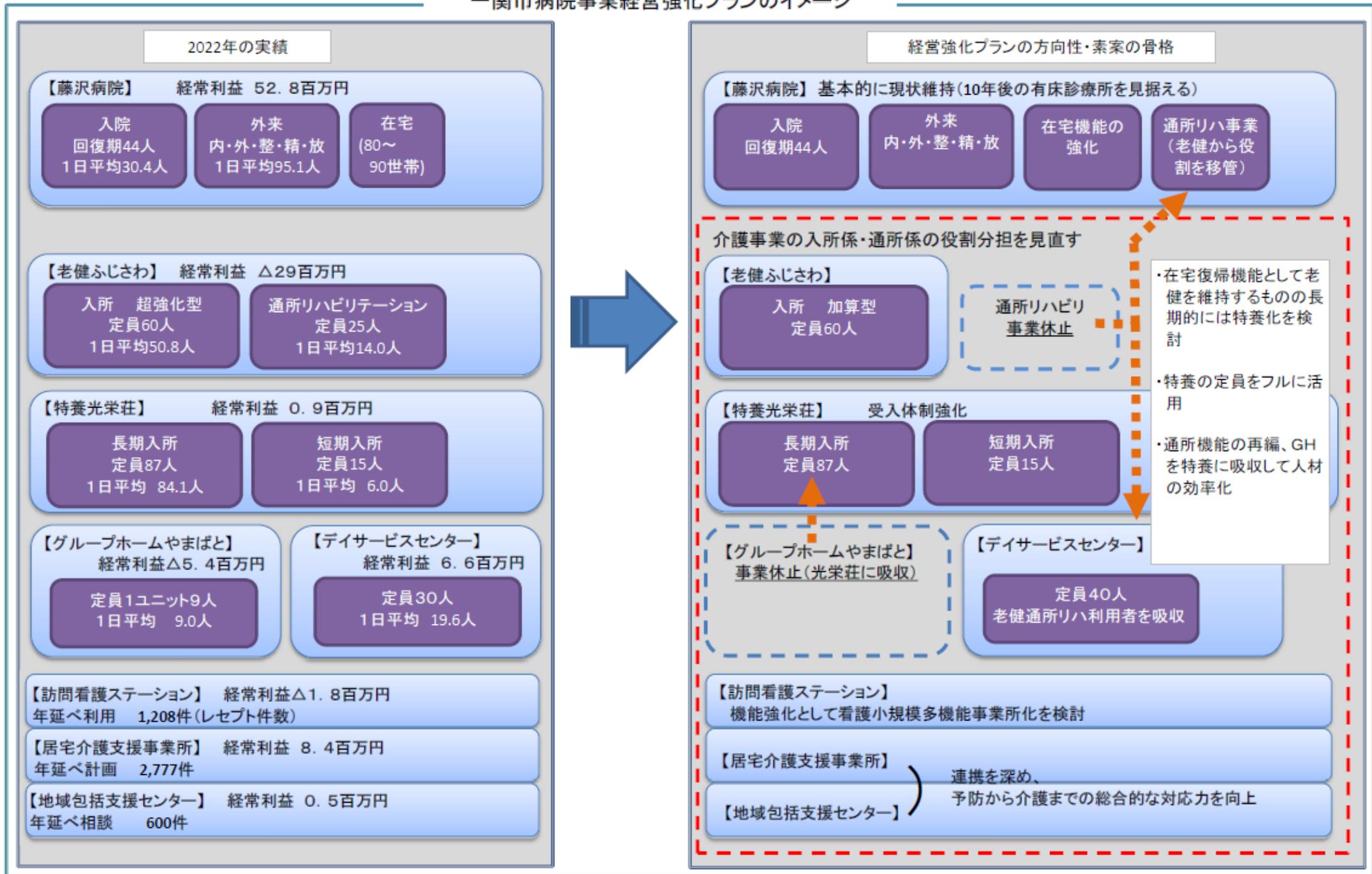
(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設、設備の長寿命化に取り組み過大投資とならないように努める
- ・ CT(64)、MRI(1.5T) を有し、画像管理加算2を取得している
- ・ MRIは2026年度に更新予定でより幅広い共同利用を進める

(6) 経営の効率化等

- ・ 100床未満で黒字病院を参考に指標を設定

一関市病院事業経営強化プランのイメージ



・在宅復帰機能として老健を維持するものの長期的には特養化を検討

・特養の定員をフルに活用

・通所機能の再編、GHを特養に吸収して人材の効率化

連携を深め、
予防から介護までの総合的な対応力を向上